

不安と孤立を見捨てない石坂わたるの たつこの通信



2012. Apr (4月号)

VOL.04

- 1面 ごあいさつ／視察レポート／
議会質問とその後
- 2面 議会で質問しました
- 3面 総括質疑／委員会質問
- 4面 学習会レポート／活 動報告／
お知らせ／だらごんクン

<http://ishizakawataru.net/> twitterID : @ishizakawataru 編集・発行：共生中野

〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL:03-6304-8758 E-mail:09wishizaka@mbr.nifty.com

【中野区議会】〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL:03-3228-8874(無所属控室)



多くの方に声を寄せていただき、また、議会の傍聴にもお越しいただき、ありがとうございます。今後もみなさんと共に、誰もがこのまちで一緒に暮らししていきたいと思える中野にしていきたいです。今後ともご支援をお願いいたします。

さて、今定例会では、高齢者や母子の福祉、外国人の生活や障がい者の非常時の安心、女性の就労と生活、職場のダイバシティなどについて質問しました。行政が「良かれ」と行ったことでも、当事者不在・住民不在の進め方では、予想外の影響が出てしまうことがあります。わかりやすく丁寧な説明の徹底と、日頃から住民と共に考える土壌作りが欠かせません。

住民同士の支えあいを区が後方支援するだけでなく、住民と区が共に考え協働するパートナーシップを構築すべく、24年度もがんばります！

石坂わたる

石坂わたる：1976年生まれ。養護学校教諭、区立 第七中学校・第十中学校 介助員などを経験し、平成 23 年、中野区議会議員選挙にて初当選。精神保健福祉士、行政書士。

視察に行ってきました。様々な取り組みを中野の未来に活かします！

中野区 弥生保育園分園・認可保育園

中野りとりぱんぷきんず (12月8日)

業務委託で設置されている弥生保育園分園と、私立保育園の中野りとりぱんぷきんずを視察。りとりぱんぷきんずでは栽培と調理体験や、様々なメニューなど、食育にも力を入れていました。



見附市のエコスクール。屋上で太陽光発電をしている。

新潟県見附市立今町小学校 (10月31日)

環境を考慮した学校施設（エコスクール）です。屋上ソーラーパネル発電や雨水活用などのアイデアを見習いたいです。

新潟県長岡市 子育ての駅てくてく (11月1日)

雨や雪の日でも遊べる屋内運動スペース、親子交流サロン、一時保

育、育児相談など、地域全体で子育てをする理想的な施設でした。

岩手県盛岡市 もりおか女性センター (11月7日)

岩手県内の被災状況、授乳や更衣室の問題など女性被災者のニーズについて、センター長にお話をうかがいました。

岩手県盛岡市 岩手大学男女共同参画推進室 (11月8日)

被災した女性への仕事の創出・分配など、地域における継続的支援の例についてうかがいました。

岩手県盛岡市 岩手大学学内保育スペースぱるんひろば (11月8日)

職場や学校のそばに保育施設があれば、送り迎えや緊急時の負担が少なく、子育てと勉強・仕事の両立において有意義だと感じました。

平成23年中の

議会質問とその後

質問から数ヶ月、こうなりました！

(議会質問はたつこの通信1～3号にも掲載しております)

放射線量試測結果を区報にも

区 HP のみで発表される予定だった結果を紙媒体で周知することを提案し、区報にも掲載。

発達支援相談ハンドブック改訂を

小学校低学年までの保護者向けに作られていた「発達支援相談ハンドブック」に、24年度版から思春期版が加わることに。

NPO法人育成に支援を

11月に、区による NPO プレゼン力育成講座開催。

HIVによる免疫機能障がい者の就労相談

HIV 陽性者、免疫機能障がい者が相談できる窓口拡充と広報を求め、2/20 号の区報にて支援の対象であることが明記される。

相談窓口でメンタルサポートを

離職者相談、生活保護などを扱う窓口で、精神面での相談や支援を行う精神保健福祉士が 1 名から 2 名に増員。

住み替え支援をルームシェアにも

友人同士、障がい者同士、同性カップルのルームシェアが住み替え支援事業の対象になるか確認し、適用されることに。

定例会（2月16日～3月23日） 一般質問

中野区への避難者 個別に支援を！

石坂 被災地から避難してきた方々への支援の取り組みの成果は？

区長（田中大輔） 区内都営住宅に避難してきた被災者に対し、個別訪問を実施し、多岐にわたる支援を行っている。

石坂 個人で避難してきて区内各所にばらばらに暮らしている方々には、十分な支援や情報が届かず孤立の可能性がある。意思確認を行い、個別の支援対応につなげるべきでは？

区長 実態把握と支援への結びつけのために、すこやか福祉センター職員による全件訪問を検討する。

ココがポイント
避難者支援についてのお問い合わせ
区民サービス分野 区民相談担当
03（3228）8802

外国人登録制度廃止 新制度の運用、周知は？

石坂 中野区全人口の3.6%は外国人である。今年7月9日から外国人登録制度が廃止され、制度変更に伴い、住民としての登録ができなくなる方がいる。これまでは就学通知や三歳児健康診査などは在留資格に関わらず行政サービスの提供がなされてきたが、新制度ではどうなるか？

区長 それぞれ判断をしていくことになる。さまざまな事務に関わるので、

調整、情報交換を綿密に行う。

石坂 変更点について、外国人本人に對しての周知や、外国人と関わる日本人にも周知が必要。十分な告知や情報提供をどのように行う予定か？

区長 外国人住民への個別の通知も行う。

「仕事と生活の調和」と 「多様性」の周知を！

石坂 中野区には多様な採用や勤務形態の職員がいる。こうした働き方の多様な形態を活用して、シングルマザーや、再就職のステップを考えている女性も含め、さまざまな経験を持つ人の中野区は働く場を提供している。これによる好影響や業務改善効果は？

経営室長（川崎亨） 即戦力として力を発揮し、効果を上げている。多様な勤務形態を導入している職場では、効率的な運用ができています。これまでの実績でその効果を検証してきている。

石坂 中央区などのように、入札の総合評価方式においてワーク・ライフ・バランスに取り組み企業に加点をする仕組みを中野区でも検討すべきでは？

経営室長 すでに企業の信頼性や社会性を評価する項目のひとつに育児・介護休業制度の有無を評価基準として男女共同参画の状況を設けている。ワーク・ライフ・バランスに取り組み企業を認定する統一的な基準がない現段階では、総合評価方式の評価項目に加えることはできない。

石坂 少なからぬ男性が、男女共同参

画を「女性の問題」ととらえ、男性のワーク・ライフ・バランスは進みにくい。

政策室長（竹内沖司） 家事や育児を積極的に行う男性や、子育てや福祉関連の活動に関わる男性が増えている。昨年度、育児休業を取得した男性の経験談の展示を行った。家庭や地域で活躍する男性の活動事例を取り上げ、今後ホームページや「アンサンプル」などを通じて広報していきたい。

石坂 国の第三次男女共同参画基本計画では、ダイバーシティ（多様性に関する取り組み）を促し、広報や周知に努めるとしている。企業が多様な従業員を抱え、活用していくことは、企業の社会的責任（CSR）であり、企業の強みにつながる。先進的な取り組みの紹介などを行っていくべきではないか？

気づいたとき、スムーズな支援につなげられるのか？
地域支えあい推進室副参事（野村建樹） 連絡をいただき、すこやか福祉センターで対応する。

石坂 弁護士、司法書士、社会福祉士、税理士、精神保健福祉士、行政書士など事情に応じて適任な後見人の確保ができるようにしていくべきでは？

健康福祉部副参事（上村晃一） 専門職後見人派遣団体と連携し、適切な後見人が選任できるよう努めている。

石坂 生涯学習館が廃止されるが、子どもから高齢者に至るまでの学習権を保障し支援する考え方は今後変わらないか？ 活動場所の確保は？

健康福祉部副参事（浅川靖） 支援は大切だが、あり方は時代に合わせて変化していくべき。これまでの利用団体には、地域や活動内容にあわせ使用できる施設を案内している。

ココがポイント
男女共同参画センター情報誌「アンサンプル」は、各区民活動センターや区内事業所で配布している他、男女共同参画センターのホームページでも内容をご覧いただけます。

第1回定例会 総括質疑

高齢者の孤立を防止して

石坂 生活保護を受給している高齢単

身者のうち孤独死をした人が平成22年度に区内で150人程度はいたものと推測される。地域支えあいネットワークの見守り活動などで区民が認知症の疑いやその他異変のある高齢者の存在に

石坂 高齢者福祉センターが廃止されるが、憩いや見守りの機能が失われたり、孤立につながるのではないよう新たな施設でも配慮や工夫をし、利用者の声を運営に反映させるように。

北部すこやか福祉センター副参事（長崎武史） 今後も憩いやふれあいなどの場となることを期待している。区民の意見を反映した運営のために検討してまいりたい。



石坂 生活保護を受給している高齢単身者のうち孤独死をした人が平成22年度に区内で150人程度はいたものと推測される。地域支えあいネットワークの見守り活動などで区民が認知症の疑いやその他異変のある高齢者の存在に気づいたとき、スムーズな支援につなげられるのか？

地域支えあい推進室副参事（野村建樹）
連絡をいただき、すこやか福祉センターで対応する。

石坂 弁護士、司法書士、社会福祉士、

障がい者災害対策

石坂 帰宅困難者対応のために食料や水、LEDランタンなどに加え、必要物資の情報収集をし、排泄用便袋をはじめ、備蓄物資を改めて考えるべきでは？

都市基盤部副参事（佐藤芳邦） 被災地に派遣している職員から情報収集し、検討してまいりたい。

石坂 痰吸引器や呼吸補助器などのための災害時の電力確保が必要では？

健康福祉部副参事（朝井めぐみ）（特別な支援が必要な人の）二次避難所への発電機配備は現時点では考えてない。

石坂 医療的ケアが必要な方への対応は喫緊の課題。発電機をもつ業者との提携などはできないか？

都市基盤部副参事（佐藤） その可能性は検討してまいりたい。

石坂 障がい者の安否確認について、福祉施設からの安否情報を区で集約して災害時要援護者名簿とあわせて安否確認ができるようにすべき。また、業務委託や

指定管理で区から仕事を受けている施設等の場合、区の指示がなくても名簿を使い安否確認するよう明記すべきでは？
健康福祉部副参事（朝井） できるだけ利用者の安否確認に努めていただきたいと考えている。事業者と協議・検討をして協力をお願いしていく。

3月25日、中野区障害者防災委員会のシンポジウムでも区長が「障がい者団体や施設を運営する」組織がメンバーの安否確認を行うのは当然」と明言しました。

すこやか福祉センターについて

石坂 「こんにちは赤ちゃん訪問」から相談につながった場合など、区役所に行かずに子どもに関する相談や支援の手続きができるようになっていくのか？

中部すこやか福祉センター副参事（高里紀子） 一部事務については専門性が高く、区役所窓口でのお手続きをお願いしている。

石坂 相談した人がたらい回しされることなく、ワンストップの相談体制や、具体的なサービスにつながる機能が今後しっかり拡充されていくのか？

地域支えあい推進室副参事（野村建樹） まだ不十分な点があることは認識している。窓口機能についても再度検討し、すこやか福祉センターでのワンストップ体制を目指していく。

すこやか福祉センターは、保健・福祉の地域拠点として、子どもから高齢者までみんなの相談や様々な行政サービスのために23年度にできた施設です。

**委員会質問
子ども文教委員会（11月21日）**

緑野小・中学校のたんぼぼ学級廃止について

石坂 緑野小中のたんぼぼ学級（肢体不自由学級）の廃止と障がい児施設への転換について。この学級の親御さんや今後新施設を利用する方からの意見等は？

教育委員会事務局副参事（宇田川直子）
現在たんぼぼ学級に通っているお子さんについては、環境が変わることや支援について、今後よくお話をさせていただき、ご意見をうかがっていく。

石坂 たんぼぼ学級を見学した。通常学級と特別支援学級に在籍している子どもとの交流が比較的うまくいっている様子だった。親御さんや学校からの声は？
教育委員会事務局副参事（宇田川） 緑野小中のPTAからはそういったお声や、今後も交流をしていきたいというご意見も出ている。重度・重複障がい施設の事業展開の中で、今までの学校での経験やよかった面は活かしながら運営していく。

地域支えあい推進特別委員会（12月12日）

石坂 地域支えあいネットワークの人材確保等に関してどうお考えか？

地域支えあい推進室副参事（野村建樹）
地域の支えあいの活動への参加者がより多くなる状況を目指しているので、ボランティアの発掘・育成を別個の課題として担っていかねばならないと考えている。

石坂（地域支えあいネットワークを）先行実施している町会について、成功事例、改善事例、課題事例などを整理をして、他の町会に伝えることが必要では？

地域支えあい推進室副参事（野村） 一つひとつ検証しながら、他の地域についても参考になる情報を発信していきたい。

定例会本会議での討論（3月23日）

「中野区公衆浴場法施行条例」の制定について、条例制定に賛成しました。その際、介助が必要な障がい者や性同一性障がい・トランスジェンダーの方が公衆浴場の利用において排除されてしまうことがないように要望する討論を行いました。



みんなで、一人ひとりが尊重しあえる街をつくるためにがんばります

議会を終えて

今定例会で可決した24年度の予算では、1面に掲載した通り23年中の議会が私が質問をしたことについて、拡充されたものがありました。住民同士の支えあいを区が支援するというだけでなく、住民と区が共に考え協働するパートナーシップを構築すべく、24年度もがんばります。

あなたの声を聞かせてください！

▶ 区政報告会・交流会：報告します

第1・2回の定例会本会議の様子や中野の現状について、石坂わたるが報告します。また、意見交換などをしながら参加していただいた方のお話もうかがいます。

日時：6月17日(日) 15:15～16:45

途中入場可

場所：キッチンそら

予約不要

東京都中野区中央 5-48-5 シャンボール中野 103 号

参加費：100円(資料・お菓子代)

+ワンドリンクオーダーをお願いします。

▶ 控室情報：お話をうかがいます

中野区議会内では、無所属議員控室に在室しています。ご相談・ご意見をうかがいますので、お電話・メールでの在室確認の上、お気軽にいらしてください。(区民の方3名以上の集まりにも調整の上こちらから伺います。)

❶ ボランティアを募集しています

中野区内でたつのご通信の配布をお手伝いしてくださるボランティアを募集しております。ご自宅のお近くだけでもかまいません。ご協力いただける方はお電話・メールなどでご連絡ください。

❷ メールニュース配信中！

石坂わたるの議会質問の日程やイベント参加の予定を、メールで配信しています。ご希望の方はメールでお申し込みください。

❸ 通信を郵送します！

たつのご通信は共生中野が発行する定期的な通信です。郵送をご希望の方は、お電話かメールにてご連絡ください。

災害ボランティアアコー
デネットを行っている
蓮本浩介さんからは、被災地の現状とボランティアの状況、被災地支援や調査を続ける前中野区議会議員の佐藤ひろこさんからは、仮設住宅やバリアフリーの問題について、お話をうかがいました。

「冬は作業が難しかった
めボランティアの受け入れを減らしているが、春以降に必要なボランティアが再び来てくれるか心配」「仮設住宅は、外側にスロープなどがあるが、中野での災害に備えるためにも、被災地での経験を持つ方の声をしっかりと活かしていきたいと思っています。」

東日本大震災からの1年 ―被災地と中野―

学習会レポート3月10日



● 次回学習会のお知らせ ●

「セクシュアルマイノリティと教育」

5月17日の国際『同性愛嫌悪』の日(IDAHO)にちなみ、性的少数者を含む生徒達の性と生を見守り、支援してきた元都立高校養護教諭の高橋裕子さんをお招きします。
テレビドラマ「3年B組金八先生」

で性同一性障がい扱われたとき養護教諭のモデルにもなった方です。

日時：5月18日(金) 19時～21時

場所：なかのZERO 学習室 A

(中野区中野 2-9-7)

参加費：100円(資料・お茶・お菓子代)

みんなをつなぐ 石坂わたるの活動報告

- | | |
|---|--|
| 1/7 ホリデーランチの会主催の精神障がい者との昼食会
べてるの家主催「当事者研究実践講座 in 中野」 | 2/8 精神保健福祉相談事業講演会「思春期のこころの病～その理解と援助」 |
| 1/8 NPO 法人チームイーグレット主催「東日本障害者支援コンサート“スマイル・チルドレン！”」にてボランティア | 2/12 「大震災に備えるフォーラム in 中野」見学 |
| 1/9 中野区成人式来賓 | 2/17 中野区中学校 PTA 連合会設立 50 周年を祝う会 |
| 1/11 震災支援ボランティア交流会「エカイエ ひと・いき交流会」 | 2/24 オーストラリア大使公邸でセクシュアルマイノリティに関する学習会。
オーストラリア大使と面会 |
| 1/12 中野区体育協会・中野区体育指導委員会 新年懇親会 | 2/25 絆の街「中野緑が輪市」 |
| 1/14 区立かみさぎ幼稚園幼稚園公開を参観
精神保健福祉ボランティア情報交換会 | 2/26 精神障がい者の作業所すばるカンパニーのすばるまつり |
| 1/15 多田小学校開校 70 周年記念作品展参観
中野消防団始式来賓
LGBT 成人式来賓 | 3/3 さくら館まつりにて谷戸ほのぼの Family 合唱団の一員として参加 |
| 1/16 花みずきの会「認知症介護の集い」 | 3/8 災害ボランティアのための足湯講習会 |
| 1/19 コープとうきょうのコープ会プラスミーティング | 3/9 中野区防災士会主催の講演会 |
| 1/20 まちなかサロン発表会参観
東京都行政書士会市民法務部主催「東電に対する原子力損害賠償請求について」 | 3/10 谷戸小学校授業公開 |
| 1/26 神明小学校学校公開参観 | 3/15 区立かみさぎ幼稚園卒園式来賓
共同執筆した書籍「精神保健福祉援助演習＜専門＞—精神保健福祉援助演習事例編」(弘文堂)発売 |
| 1/27 多田小学校特別支援学校と中野特別支援学校の交流授業参観
大和地域住民協議会「大和町で語る！」スピーカー
中野区福祉団体連合会新年懇親会
中野区主催の自殺予防講演会 | 3/16 区立南中野中学校卒業式来賓 |
| 2/3 中野区おもてなし運動発表会参観 | 3/17 精神保健福祉講座「ひきこもりと居場所」 |
| 2/4 中野ボランティア会 | 3/22 区立中野神明小学校卒業式来賓 |
| 2/5 横浜市「市民・NPO がつくる男女共同参画事業～セクシュアル・マイノリティの視点から考える、緊急時の『多様な生きのび方』」ゲスト講師 | 3/23 区立第九中学校の開校式に子ども文教委員長の代理として出席 |
| | 3/24 被災地名取市の「わーくしよっぶ見本市エンガワ」と東松島市鷹来の森運動公園内仮設住宅集会所のお茶会に参加 |
| | 3/25 あとりえふあんとうむフェスティバル 2012
中野区障害者防災委員会の講演会 |



中野どらごん vol. 04

作:ドルショック竹下



すべてのお問い合わせはこちら! ↓↓↓ バックナンバーのお問い合わせもこちらまで!

☎ 03-6304-8758(事務所) または 03-3228-8874(無所属控室) ✉ 09wishizaka@mbr.nifty.com